



岩手県 軽米町議会
かるまい

No. 212

平成 30 年 1 月 24 日

議会だより

主な内容

 **特集**〔指定管理者制度〕

住民サービスの質の向上を **2**

 **12月定例会** 一般質問に5人登壇 **6**

 議員管外視察報告 沖縄研修レポート **12**

 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 **16**



冬灯りライトアップ

夕暮れの冷えた空気でひと際鮮やかさを増し、静かな夜を暖かく映し出すイルミネーション。軽米高等学校音楽部の皆さんの透きとおった歌声で「かるまい冬灯り」開会式は一層魅力的になりました。

「かるまい冬灯り」(H29.12.2～H30.1.15)



特集
指定管理

公の施設の指定管理を問う

12月定例会（第20回定例会）は、12月5日から14日までの10日間の会期で開かれました。町内15の公の施設について指定管理者を指定する議案9件などすべての議案を全会一致で可決しました。町では指定管理制度の導入から12年が経過しましたが、その課題等について検証します。



住民サービスの質の向上を

住民サービス
向上への手法を

町では指定管理制度を平成18年度から導入しました。主な目的は、自治体の管理以上に住民サービスの向上や福祉の増進に繋げることにあります。今回の指定管理の指定は30年4月からの3年間です。

観光物産4施設
産業開発を指定

町の観光施設を代表する雪谷川ダムフォリストパーク・軽米など観光物産関連4施設の管理は、公募による申請を受け町の選定委員

会で審査・評価を実施。いずれも株式会社軽米町産業開発が指定を受けました。

同社は、指定管理制度導入以前から各施設の管理を行ってきた実績がある一方で、公募提案者は1事業者だけとの課題もあります。

地区センターを
地域の拠点へ

指定管理は、町有施設の農業構造改善センターや生活改善センター、中山間地域活性化施設、地区交流センターにも導入されています。これらの施設の

指定管理料は、27年度から年額6万円となっています。

指定管理される施設には地域活動の拠点的なものや収益等が見込まれる施設などがあります。それぞれの性質に合わせた指定管理の手法を検討し、地区センターを地域の拠点施設として最大限活用し、より住民サービスの向上につながるような形を考えていきたいものです。



指定管理されている山内地区交流センター

町の観光施設について聞きました

【物産交流館】

利用者目線で
おもてなしを

たけさわ ユリ子 さん
(仲町、66歳)

オープン当初に比べて最近の利用者が少なくなつたような気がします。町の物産館として、利用者目線でもっとできることがあるのではないのでしょうか。例えば、笑顔で明るく親切なおもてなしの接客にも心がけてほしいですね。利用者として応援しています。

【ミレットパーク】

地域の財産を活用し
協働して取組みたい

こばやし かずゆき さん
湧口倶楽部 小林 一幸 さん
(山内大久保、50歳)

ミレットパークの周辺には「財産」がたくさんあります。湧き水、岳の急傾斜、パノラマ展望、そして釣り堀。既に有るものを活用し、開発し、発信することが必要。前例や予算、スキルに捉われず行動することが大事だと思っています。ミレットと協働して湧口倶楽部も一緒に盛り上げていきたい。

【雪谷川ダムフォリストパーク・軽米】

施設の有効活用を
図ってほしい

おもと えつこ さん
於本 悦子 さん
(仲軽米、53歳)

八戸の友人からは子供たちを遊ばせるのにとっても良いと評判です。ただ小さい子にも安全な遊具や散策路に看板があれば良いね、と言われます。私自身が木炭生産をしていることもあり、炭焼きコーナー（炭窯）を有効活用して、林業の町をPRしてほしいですね。

◎◎ ぎかいの視点

役場内だけの選定委員会

☞ 町長が社長で公平性保てるか

指定管理者制度は、公の施設について住民サービスの質の向上を図るため、民間事業者等のノウハウを活用するのが目的です。現在のミル・みるハウスやミレットパークなどの観光施設が住民サービスにどれだけ貢献しているのでしょうか。町民、お客様本位のサービス向上が急務です。

指定管理者の公募には、(株)軽米町産業開発（代表取締役・山本賢一町長）の1社だけで、競争も無く、その選定委員会は役場の副町長と課長職が行っています。果たして公平性をもって選定できているのでしょうか。

地区センター等には、地域づくり活動の拠点となるような施策の展開が期待されます。

☆「指定管理者」については14ページをご覧ください。

皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情第 17 号】

＊件名：「いちい荘建設についての請願」

＊要旨：施設が老朽化しており、新たな施設整備により、入所者の生活環境を整えるため早急に建設できるようお願いしたい

＊請願者：社会福祉法人軽米町社会福祉協議会
会長 田名部晴夫 ほか役員 9 名

＊紹介議員：細谷地多門、茶屋 隆



全会一致



継続審査

【請願陳情第 14 号】

＊件名：「町道認定の陳情」

＊要旨：町道道合線から町道円子大沢線までの道路について、町道認定をお願いしたい

＊請願者：蛇口集落（行政区）
区長 大村昇ほか 9 名

継続審査

【請願陳情第 18 号】

＊件名：「岩手県議会選挙区設定の変更について」

＊要旨：改正公職選挙法に基づき、郡ではなく市町村ごとの設定とし軽米町を二戸選挙区とするよう県議会に要望を

＊請願者：鶴飼徳子

継続審査

【請願陳情第 19 号】

＊件名：「町道認定の陳情」

＊要旨：町道上野場名川線と農免農道観音林地区までの道路について、町道認定をお願いしたい

＊請願者：上野場集落（行政区）
区長 福田隆ほか 8 名

審議中の主な質疑（一般会計補正予算等審査特別委員会から）

【議案第 1 号～第 9 号】

指定管理者の指定

町の公の施設について指定管理者を指定することについて、農業構造改善センターなど 10 施設のほか町老人福祉センター、ミレットパークなどの指定管理者を指定するもの。期間はいずれも平成 30 年 4 月 1 日から 3 年間。

問 農業構造改善センターなどの指定管理料はいくらか。見直しの考えはないか。

答 27 年度からの 3 年間は年額 6 万円である。財政状況は厳しいが検討していきたい。

問 ミル・みるハウスの屋外トイレの 24 時間開放や、物産交流館の土曜日営業は可能となるのか。

答 今回の指定管理仕様には入れてあり、30 年 4 月から対応する予定である。

問 雪谷川ダムフォリストパーク・軽米をチューリップのほかに森林公園として魅力ある施設として何か考えているか。

答 指定管理の中では特には無いが、指定管理者の軽米町産業開発と協議していきたい。

【議案第 10 号 一般会計補正予算】

町社会福祉協議会運営費補助金

特別養護老人ホームいちい荘の建替えに向けた基本設計を進めるため、町社会福祉協議会に対して運営費補助金を補正予算で措置するもの。

【事業費 1 8 4 1 万 3 0 0 0 円】

問 建替えする新施設の規模、概要は。

答 町社会福祉協議会との協議では定員等は現在と同規模の多床室とし、鉄筋コンクリートの平屋建ての面積約 2,400㎡を想定。場所は県北分場跡地を計画している。

問 現施設の解体等の協議は。建設計画に含めて進めるべきではないか。

答 解体についての具体的な計画は無く、今後協議していく。

問 入所待機者がいる現実を考慮し、定員 50 床の増床について検討したか。

答 町社会福祉協議会との協議では現状と同規模で考えている。

12 月定例会で決まったこと

案件内容と審議・採決の状況

番号等	案件内容	付託先	本会議の採決結果	採決日
	岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 本田秀一議員が当選（新任、任期は町議員任期の 31 年 4 月 30 日まで）		当選 (全員賛成)	12 月 5 日 (招集日)
議案①	軽米町老人福祉センターの指定管理者の指定 (指定管理者：社会福祉法人軽米町社会福祉協議会)	平成 29 年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会	可決 (全員賛成)	12 月 14 日 (最終本会議)
議案②	農業構造改善センターの指定管理者の指定 (指定管理者：晴山、上館、笹渡、米田の各農業構造改善センター運営協議会)			
議案③	生活改善センターの指定管理者の指定 (指定管理者：高家、長倉、小玉川の各生活改善センター運営協議会)			
議案④	中山間地域活性化施設の指定管理者の指定 (指定管理者：増子内振興会館、大清水地区活性化センターの各運営協議会)			
議案⑤	地区センターの指定管理者の指定 (指定管理者：山内地区交流センター運営協議会)			
議案⑥	雪谷川ダムフォリストパーク・軽米の指定管理者の指定 (指定管理者：(株)軽米町産業開発)			
議案⑦	軽米町ミル・みるハウスの指定管理者の指定（指定管理者：(株)軽米町産業開発)			
議案⑧	軽米町ミレットパークの指定管理者の指定（指定管理者：(株)軽米町産業開発)			
議案⑨	軽米町物産交流館の指定管理者の指定（指定管理者：(株)軽米町産業開発)			
議案⑩	平成 29 年度一般会計補正予算⑥（1362 万円の増額補正）			
議案⑪	平成 29 年度下水道事業特別会計補正予算①（51 万 1 千円の減額補正）			
請願陳情⑰	いちい荘建設についての請願	総務教育民生 常任委員会	採択 (全員賛成)	
議案⑫ (※)	岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び同組合規約の一部変更の協議（紫波、稗貫衛生処理組合の常勤職員を配置しないことにより規約が変更となるもの）		可決 (全員賛成)	
議案⑬ (※)	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議（紫波、稗貫衛生処理組合の常勤職員を配置しないことによる退職手当の取り扱いを定めるもの）			
	総務教育民生常任委員会の閉会中の継続審査（請願陳情第 18 号）			
	産業建設常任委員会の閉会中の継続審査（請願陳情第 14 号、第 19 号）			
	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会の閉会中の継続調査（次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの）			
	議会運営委員会、常任委員会の閉会中の所管事務調査について（次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの）			

(※) 12 月 14 日の最終本会議で追加提出された議案

平成 29 年度会計の補正予算

一般会計予算を増額

66 億 7440 万円に

会計別歳入歳出予算（12 月 14 日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計	1362 万円	66 億 7440 万円
特別会計	国民健康保険	— 15 億 5091 万円
	後期高齢者	— 8850 万円
	介護保険	— 7191 万円
	下水道事業	△ 51 万円 1 億 6568 万円

※金額はすべて 1 万円未満の金額を切り捨てています

※※※ 主な補正予算の内容 ※※※

一般会計補正予算（第 6 号）

【歳入】

＊社会保障・税番号制度システム整備費補助金
(国庫補助金 165 万円)
＊財政調整基金繰入金
(基金繰入金 984 万円)

【歳出】

＊番号制度住民情報システム改修（総務管理費 165 万円）
＊軽米町社会福祉協議会運営費補助
(社会福祉費 1841 万円)
＊就学援助費
(小学校費・中学校費 106 万円)



平成 30 年度予算

問 予算編成の重点施策は

町長 町長公約の実現とハード整備を優先

【問】町長 4 期目の集大成となる平成 30 年度予算編成の重点は。
（町長）7 項目の公約実現と推進強化を図りながら、31 年度以降予定するハード整備に係る経費を優先的に措置したい。
【問】火葬場、いちい荘建設事業についての予算編成は。
（町長）31 年度の更新をめざし協議しており

基本設計や詳細設計等の経費が必要と考えている。
【問】かるまい交流駅建設は 30 年度、町民へ説明し、じっくりと取り組むとのこと。現任期中の実現は困難で、先送りとならないか。
（町長）当初から複数年度の計画である。用地の取得が終わり、詳細設計に取り組みこととしており公約どおり



平成 30 年度以降、大規模な施設整備が計画されています（写真は、31 年度の更新をめざす町火葬場）

【問】指定管理者制度の導入から 12 年が経過した。成果の検証と今後の方向性は。
（町長）各施設とも協定に沿って管理運営されている。今後は公募を原則に、対象施設の拡大も検討したい。
【問】ミレットパークなど観光施設の有効活用、イベントを主催する観光協会が管理主

体となつてはどうか。
（町長）公募により審査・評価し決定している。利用者サービスの向上に向けて指定管理者と話し合っていく。
【問】地区センターを地域活動の拠点と位置付け、指定管理制度を進めていかないか。
（町長）地域活動には、多方面からの支援策を検討していきたい。

町長

サービスの向上をめざす

問

観光施設の有効活用を

指定管理者制度

【問】大規模な事業は、将来を見据えた町総合発展計画を見直し、事業の優先順位をつけて取り組むべきでは。
（町長）町総合発展計画により対応したい。

画の後期計画にあたる時期に策定した「町人口ビジョン・総合戦略」と昨年度策定の公共施設等総合管理計画に加え、今後策定の個別計画により対応したい。

第 20 回定例会・一般質問
5 人が登壇

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・同一項目についての再質問は 2 回までできます
- ・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
 中村正志 (7 ページ)	山本町政 4 期目の最終年度における予算編成及び重点施策について	
	軽米町公の施設の指定管理者の指定について	
 松浦満雄 (8 ページ)	軽米高校への支援策について	
	農業振興について	
 田村せつ (9 ページ)	町の活性化について（軽米秋まつり）	
	幼児教育について（幼保一元化）	
 茶屋 隆 (10 ページ)	ふるさと納税について	
	空き家対策と有効利用について	
	災害・危機管理について	
 古館機智男 (11 ページ)	国保広域化と軽米町の対応について	
	食フェスタについて	
	非核平和都市宣言の町として「核兵器禁止条約」の批准推進について	

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は会議録に調製しますので、議会事務局又は町ホームページでご覧いただけます。



秋まつり流し踊り

問 参加し易くコース見直しを

町長 秋まつり実行委員会で議論

【問】軽米秋まつり中日に行われる流し踊りの距離が長いとの声を聞く。子どもから大人まで楽しめるように、例えば町防災センター（向川原地区）から役場までのコースなどに見直してはどうか。

（町長）ご指摘の流し踊りコースの距離について、私は長いのではないかと声をいただいている。今後、秋まつり実行委員会で議論いただき、多くの町民が参加しやすいよう検討したい。

【提言】踊り手と沿道で声援を送る方、どちらも楽しめる方法を検討してほしい。



現在の軽米秋まつりの流し踊りは、蓮台野橋付近からスタートし蓮台野（写真）から下新町までの約1.2キロメートルのコースとなっています

【問】幼保一元化により幼児教育と保育が平等に受けられる環境づくりを期待する。近隣自治体を視察した成果と、今後の町の課題は何があるのか伺う。

（町長）昨年度、二戸市子育て支援センターに併設する児童クラブと一時預かり保育、病後児保育施設を担当職員が視察した。一時預かり保育等の必要性を感じた一方、町には施設整備の必要と人的体制の確保が必要な状況にある。

【問】一元化に向けて幼児教育と保育事業の融合をどのように図ろうとしているのか。

（町長）現時点で具体の案は無いが、幼稚園と保育園の機能を備え、保護者の就労形態にかかわらず子どもが保育と教育を等しく受け、就学への不安を解消する必要があると考える。31年度の子ども子育て支援事業計画の見直しに合わせ、調査検討したい。

【提言】幼児期は人間形成の基礎を培う大事な時期である。幼保一元化に向けた議論を重ね、より良い環境づくりを目指してほしい。

町長

計画見直しの際、調査検討

問 幼保の融合をどう図る

幼保一元化

県立軽米高校の存続支援

問 思い切った支援が必要

町長 給食費補助見直しなど検討したい



県立軽米高等学校は平成29年12月現在で、3年生57人、2年生48人、1年生45人の全150人が在籍しています（写真は、平成29年4月の同校入学式）

【問】現在の軽米高校支援策について伺う。

（教育長）給食費や学習活動費、英検等受験料等の助成として同校教育振興会へ475万円を補助。ほかに中学校スクールバスへの混乗、通学バス代の助成なども行っている。

【問】軽米高校の学級数が減少する可能性はあるのか。

（教育長）県の高校再編計画には入っていないが、入学者が2年連続で募集定員の半分以上だと学級減となる。

【問】他に負けない思い切った高校支援や子育て支援が必要では。（町長）八戸市南郷区など近隣中学校への働きかけや通学支援、給食費補助率の見直しなどを検討したい。若者世代の雇用、経済的支援も充実させたい。



まつうらみつお 松浦満雄

小軽米農地基盤整備事業

問 事業担当職員の配置を

町長 体制的に難しく検討要す

【問】農地区画整理事業は小軽米地区活性化の起爆材となる。事業推進に町の専任職員を配置できないか。

（産業振興課長）地域の農業者が中心となり合意形成を図っていくことが最も重要と考える。専任職員の配置は難しく、現体制での効果的な推進を図ってきたい。

【問】農作業オペレーターを受託する個人・団体が、農業機械の導入等を行う際に支援策はないか。

（産業振興課長）国には産地パワーアップ事業など個人事業者向け検討が必要である。

（町長）現体制でも相談等には対応していると考えている。専門職員や担当者の配置には検討が必要である。

【問】区画整理事業には意向調査や相続登記など専門的な事務もある。また国・県の補助制度について町民が相談しやすい体制づくりも必要である。経験豊富な再任用職員をこうした担当職員に配置してはどうか。

（町長）現体制でも相談等には対応していると考えている。専門職員や担当者の配置には検討が必要である。



国民健康保険制度の広域化

問 保険料引き上げはあるか

町長 保険者となる県からは1月に通知

【問】国民健康保険の都道府県化で、国保税が引き上げられることはないか。

(町長) 30年4月からの国保の広域化に向け、1月には県から納付金の決定が通知される。一定割合以上増加する場合、被保険者の負担が多とならないよう緩和措置が行われることとされている。

【問】全県統一の保険税が適用されることについて、町長の見解は。

(町長) 沿岸市町村は東日本大震災被害による免除措置などで医療費水準が高い傾向にあるが、本町は比較的低い水準にある。岩手県



あいにくの雨となった食フェスタ in かるまい 2017 (29年10月29日)

食フェスタ

問 内容・会場の見直しは

町長 主催の観光協会と協議する

【問】食フェスタをハートフル会場で実施した成果と反省は。

(町長) 27年度から交流人口拡大を目的に、町観光協会主催によりハートフル・スポーツランドを会場に実施している。例年約5千人が来場しているが、こ

核兵器禁止条約

問 条約批准どう考える

町長 賛同する

【問】非核平和宣言の町の町長として「核兵器禁止条約」の批准についてどう考えるか。

(町長) 広島・長崎両市長が呼びかける「平和首長会議」に27年12月に加盟した。私自身「核兵器禁止条約」の批准には賛同する。

ふるさと支援寄付金

問 用途を具体的に募集しては

町長 実施事業をホームページで紹介

【問】29年度の寄付金の状況はいかに。

(町長) 29年12月7日現在で約900万円。最終的には28年度の1300万円と同規模を期待している。

【問】費用面では28年度に比べ4倍に増えている。その内訳は。

(町長) 29年7月からふるさと納税専門サイトを運営する株式会社とふると契約している。その委託料191万7千円のほか、返礼品費用として484万円を予算計上している。

【問】使途事業を具体的に募集してはどうか。

(総務課長) 募集事業は大きく5テーマ設けている。使途事業の紹介をホームページで行っていききたい。

【問】企業版ふるさと納税の対象事業は、かかるまい交流駅と植樹工場のほかに計画はあるか。

(町長) 企業版ふるさと納税を活用した事業はないが、大規模園芸施設「トマトパーク」の整備について事業者と協議している。



「若者向けの住宅整備」をふるさと納税の一事業として募集しても良いのではないのでしょうか(写真は、町営下向川原住宅)

空き家活用

問 若者向けに改修整備を

町長 子育て・若者住宅を検討

【問】空き家をリフォームし、若者世代に貸したり移住者向けに情報提供してはどうか。

(町長) 借り手のニーズや民間業者との関係から町がリフォームして貸すことは難しいと考える。首都圏向けの若者住宅も検討したい。

【問】空き家情報の発信は行っていききたい。

【問】一戸町では安価な子育て支援住宅が満室とのこと。空き家の有効利用を考えては。

(町長) 老朽化している町営住宅と合わせ若者住宅も検討したい。

光ファイバー通信

問 障害時には状況説明を

町長 今後の参考としたい

【問】先日光ファイバーからのテレビ放映が1時間ほど映らなくなった。町からの説明が必

(総務課長) 皆様にご迷惑をおかけした。夜間でもあり防災無線での放送はしなかった。今後の参考としたい。

- ＊実施期間 平成 29 年 11 月 13 日（月）～ 16 日（木）
＊研修場所 沖縄県（本島）
＊テーマと視察先 ①観光振興（一般社団法人今帰仁村観光協会）
②指定管理・6次産業化（一般財団法人美ら島財団）
③議会改革・米軍基地問題（嘉手納町議会）
＊参加議員 山本幸男、古館機智男、細谷地多門、本田秀一、松浦満雄、大村 税
（12名） 茶屋 隆、館坂久人、上山勝志、川原木芳蔵、田村せつ、中村正志
※欠席：松浦 求、中里宣博

国頭郡 今帰仁村（なきじんそん）



QRコードはこちら
今帰仁村観光協会
ホームページ
<http://www.nakijinso.jp/>



全長約2kmの古宇利大橋

沖縄本島北部に位置し、面積は離島含め約39.87km²で人口は約9,500人。平成12年に今帰仁城が世界遺産に登録された。北東部の東シナ海上に古宇利島があり約2kmの古宇利大橋で結ばれるなど観光産業が主体の村。今帰仁村観光協会は平成24年（2012年）に設立され、27年9月に一般社団法人化した。「今帰仁村を世界中の人に知ってもらい、好きになってもらう事」を観光協会の役割とし、自然を活用した体験観光に取り組んでいる。



おむら みつぎ
大村 税
産業建設常任委員長

行政視察 研修報告

議員管外 （沖縄県）



まつうら みつお
松浦満雄
総務教育民生常任委員長

基地問題は 昼夜問わず

居住区域と隣接する米軍基地では飛行機の爆音と地上調整音は途切れることなく、学校や住宅の真上を飛び交い、夜10時以降や休日とも騒音は止まない。戦闘機の排ガスによる悪臭問題もある。町では基地涉外課を平成3年に設置し、基地に関連する被害や騒音を改善するため、データ収集や交渉業務を行っている。

一方で基地関連の歳入は一般会計の22・7%、28億円を超え、地権者は326人、町内従事者は96人に上る。

体験観光で 半年1万人

今帰仁村観光協会は平成24年に設立の比較的新しい組織で、27年9月に一般社団法人となった。主に教育旅行の受け入れと民泊、体験観光で29年度上半期の宿泊者は1万人を超える。



今帰仁村観光協会の稲福奈津子事務局長（前列左から3人目）から法人化への取り組みなどをお聞きしました

廃校活用の 教育ファーム

同会は賛助会員80人で、民泊は住民協力のもと実施。村商工会と連携し、ふるさと納税の返礼品発送も担い、村一丸となった取り組みが特徴。世界遺産「今帰仁城」もあり観光産業への感心が高いと感じた。

同会会員でもある「農業生産法人（株）あいあいファーム」を視察。廃校校舎を活用し農園、加工施設、レストラン、宿泊施設を備え、総合的教育ファームとして修学旅行等の農業体験を受けれている。特にも宿泊施設は立派でスポーツ合宿等にも最適と感じた。国庫補助金を活用した改修等の事業費は約9千万円。

廃校舎活用は公募によって事業者を決定され、民間主導で事業が展開されている。

信頼獲得へ基本条例を議論

町議会には基地対策特別委員会（7人）が設置されている。29年1月から11月まで10回もの臨時会が開催されたが、議題のほとんどが基地問題。意見書や決議のほか政府関係機関への要請、住民説明会などに取り組んでいる。

議会基本条例は26年6月

に制定。町民からの議会不要論や定数（16人）削減などの声が厳しく、自ら改革をしようと一条一条時間をかけて議論。翌27年3月、沖縄県内では初めてとなる政治倫理条例も制定した。

こうした議論の過程の中で、二元代表制の一角である議会が、いかにして議会

声の反映に住民懇談会

嘉手納町には6つの行政区があり、全地区で議会もしくは町主催の住民懇談会を毎年交互に開催し、住民にとって年一度は意見を言える場を作っている。町が開催する年度は、議会は補助金交付団体との懇談会を行う。こうした要望・提言は、概要をまとめて議会だよりに掲載。一般質問でも取り上げるなど実態把握に努めるほか、重要案件については議長から町長への進言・報告を行い、住民の「声」の反映に努めている。



嘉手納町議会の德里直樹議長（写真右）から議会の取り組みを説明いただきました



廃校校舎を改修した宿泊施設などに活用されている「あいあいファーム」を見学しました

19人の協力隊 観光に従事

同村では地域おこし協力隊も積極的に活用し、これまでに延べ19人を採用。主に観光や農業振興などに従事し、観光協会と連携した6次産業の振興にも一役かっている。こうした取り組みも参考となった。

【議案③④⑤】かるまい
交流駅（仮称）駐車場等
の用地取得について、原
案どおり可決しました。

③畑 763・80㎡
金額 633万9540円

④畑 2806・57㎡
金額 1206万8251円

⑤宅地 76・77㎡
金額 142万245円

【議案⑥】学校給食運搬
車（2ト保冷車）1台の
取得について、原案どお
り可決しました。

・金額 653万3978円

【議案①②⑥⑦は全員賛
成 ③④⑤は賛成多数】

交流駅用地を取得

・契約金額 6696万円

・内容 円子地区センター
（仮称）建築工事

【議案②】円子地区セン
ター（仮称）建築工事請
負契約について、原案ど
おり可決しました。

円子地区センター 建築契約を締結

第19回臨時会 （平成29年11月8日開催）

賛否が分かれた議案の表決一覧（賛成：○、反対：×）

議案名	中里	中村	田村	川原	上原	館山	茶屋	大村	松浦	本田	細谷	古館	山本	※松浦	賛成	反対	結果
議案	宜博	正志	せつ	勝志	久志	隆	税	満雄	秀一	多門	智男	幸男	求				
議案③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		11	2	可決
議案④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		11	2	可決
議案⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		11	2	可決

（※）議長は通常、採決には加わらない

【議案①⑦】 29年度一般会計補正予算（第4・5号）

総額 66億 6078万円に

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

【歳入】
・衆議院議員選挙執行委託金（県支出金 1307万円）
・財政調整基金繰入金（基金繰入金 2979万円）

【歳出】
・衆議院議員選挙実施費用（選挙費 1307万円）
・農林水産業及び公共土木災害復旧費（災害復旧費 2979万円）

町議会の動き

（平成29年10月～12月の主要な行事）

月	日	曜	行 事 名
10月	1	日	町民体育祭 みのり～むフェスタおとふけ 2017（北海道音更町）
	3	火	議会報編集委員会
	4	水	岩手県町村議会議長会定例理事会ほか（盛岡市）
	6	金	岩手県町村議会議長会・委員長研修会（盛岡市）
	10	火	議会報編集委員会 カシオペア連邦議会議員協議会活動交流集会
	11	水	北部地区町村議会議長会行政視察（九州地方、～14日）
	16	月	二戸地区広域行政事務組合議会定例会
	17	火	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会（香川県、～19日）
	25	水	かるまい議会だより第211号発行
	29	日	食フェスタ in かるまい
11月	31	火	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会
	1	水	町政調査会幹事会
	6	月	議会運営委員会
	8	水	第19回軽米町議会臨時会 平成29年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会
	9	木	岩手県町村議会議長会広報担当者研修会（花巻市、～10日）
	13	月	軽米町議会議員管外行政視察（沖縄県、～16日）
	20	月	地方自治法施行70周年記念式典（東京都）

議長交際費

※お祝い等（会費含む）

10月 2件 20,800円

11月 0件 0円

12月 1件 7,000円

※議長交際費は議長が町議会を代表して対外的な行事等へ参加する際の経費で、主に各団体の総会等の会費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

月	日	曜	行 事 名
11月	21	火	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会ほか（東京都、～22日）
	27	月	産業建設常任委員会 カシオペア連邦議会議員協議会役員会（二戸市）
	28	火	議会運営委員会
12月	5	火	第20回軽米町議会定例会本会議（会期：～14日） 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会 議会報編集委員会
	7	木	定例会一般質問
	8	金	定例会一般質問 総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
	11	月	平成29年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会、町政調査会幹事会
	14	木	定例会最終本会議、議員全員協議会
	18	月	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会視察（葛巻町） 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会
	21	木	二戸地区広域行政事務組合議会臨時会
	22	金	軽米町議会議員の定数等調査特別委員会 軽米町議会議員の定数等調査特別委員会幹事会



カシオペア連邦議会議員協議会
議員活動交流集会（10/10）



北部地区町村議会議長会
行政視察（10/11～14）



軽米町議会議員の定数等調査特別委員会
葛巻町議会視察（12/18）

検証

追跡

あの「検討します」は… どうなった？ ⑤

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

問

特別養護老人ホーム

いちい荘の早期建て替えを

答

社会福祉協議会が主体的に進めるべきで
財源の確保や場所については協議したい

その後は…

平成29年12月定例会で、社会福祉協議会に対し
基本設計業務への補助金1,841万円を補正措置
県北分場跡地を候補地に、31年度建設へ支援



平成29年12月定例会に提案された一般会計補正予算（第6号）で、町社会福祉協議会への運営費補助金1,841万円が予算計上され可決。建設についての請願も全会一致で採択している。

（本紙面4、5ページに関連記事を掲載）

整備計画案	平成 29 年度	基本設計	総事業費
	30 年度	詳細設計	
	31 年度	建設工事	約 11 億円
	32 年度	外構工事	

議会のはてな？

しくみを教えて！ No.12

していかなりしゃ

指定管理者

条例制定が前提

地方公共団体は公の施設の設置目的を効果的に達成するため、必要により条例によって法人その他の団体に管理を行わせることができるもの。自治体管理よりも住民サービスの向上や福祉増進が見込まれるものが該当。

なお、議員や長の兼業禁止規定には該当しないが、選定には公正さが必要とされる。

議会の議決も必要

指定管理者を指定するときは、あらかじめ管理させる公の施設名、指定団体名、期間等について議会の議決を必要とする。（自治法第244条の2⑥）

ただし議会が管理者を選定するのではなく、指定の前提手続きとして行われる。

町民インタビュー Vol. ⑩



茶屋 隆
中村 正志
松浦 満雄
川原木 芳蔵
田村 せつ
中里 宜博